

卒業論文講評

小関 隆志

上村 武「黒姫高原スノーパークの再活性化策」

上村さんは趣味のスキーの経験をうまく生かして論文のテーマを見つけました。上村さんが小さいころから利用している黒姫高原スキー場が利用者減少に悩まされているので、どのようにして活性化を図ればよいかということです。

上村さんが小さいころから利用しているため、論文の調査対象であるスノーパークについてよく知っているというだけでなく、スノーパークの経営主体や、近くのホテルの経営者、それに常連客とも人間関係があり、調査の下地はもう既に作られていたと言っても過言ではありません。自分の強みを充分生かしてオリジナリティのあふれる論文を書くことができ、たいへん良かったと思います。論文のタイトルからもうかがわれますが、このスキー場に対する強い愛着というか愛情が感じられました。

論文を書くにあたって各種のウェブサイトや本、論文等も参照していますが、やはりホテルの経営者から入手した内部資料やインタビュー記録、また利用者へのアンケート調査は、上村さんにしかできないもので、論文全体の質を高めています。

今回の黒姫高原の研究は、一つの事例研究です。日本のスキー場経営全体の動向の中で、黒姫高原の事例はどのように位置づけられるのか、どの程度一般化されるのかということが分かると、この論文の意義がもっと高くなると感じます。